

平成22年第1回上里町議会定例会会議録第4号

平成22年3月9日(火曜日)

本日の会議に付した事件

日程第25 (町長提出議案第19号)平成22年度上里町一般会計予算について

出席議員(12人)

1番	高橋正行君	2番	斉藤邦明君
3番	納谷克俊君	4番	中島美晴君
5番	荒井肇君	6番	新井實君
8番	高橋仁君	9番	伊藤裕君
10番	根岸晃君	11番	桜井彪君
13番	桜井正君	14番	小暮敏美君

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町長	関根孝道君	副町長	山下精治君
教育長	山下武彦君	総務課長	久保勉君
総合政策課長	高野正道君	税務課長	福島雅之君
町民環境課長	清水澄雄君	福祉こども課長	飯塚邦男君
健康保険課長	高杯一美君	まち整備課長	岩田貞祐君
産業振興課長	大場信也君	下水課長	豊田昇君
人権共生課長	山田和雄君	学校教育課長	柴崎久男君
生涯学習課長	庄邦雄君	指導室長	丸山修君
水道課長	澁澤秀実君	図書館長	斉藤直君
老人センター所長	関根信夫君	会計管理者	戸矢三樹男君

事務局職員出席者

事務局長 戸矢隆光 次長 須田孝史

開 議

午前9時00分開議

議長（根岸 晃君） ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから散会前に引き続き本日の会議を開きます。

日程第25 町長提出議案第19号 平成22年度上里町一般会計予算について

議長（根岸 晃君） 日程第25、町長提出議案第19号 平成22年度上里町一般会計予算についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 山下精治君発言〕

副町長（山下精治君） 御提案申し上げました議案第19号 平成22年度上里町一般会計予算について御説明を申し上げます。

平成22年度上里町一般会計・特別会計予算書の5ページをお開きいただきたいと思います。

平成22年度上里町一般会計予算は次に定めるところによるものであります。薄いほうですね。

第1条であります。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ74億2,700万円と定め、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」によるものであります。

第2条については債務負担行為についてであります。地方自治法第214条の規定により、債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額、「第2表 債務負担行為」によるものであります。

第3条につきましては地方債についてでございますが、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は「第3表 地方債」によるものであります。

第4条についてであります。一時借入金についてでございますが、地方自治法第235条の3第2項の規定によりまして、一時借り入れの最高額を5億円と定めたものであります。

第5条につきましては歳出予算の流用についてですが、地方自治法第220条第2項のただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、各項に計上した給料、職員手当及び共済費、賃金に係るものは除くものであります。予算額に過不足が生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用することをできるものであります。

次に、「第1表 歳入歳出予算」でございますが、6ページから8ページに歳入予算の款項

別の金額が記載をされておるところでございます。

平成22年度の歳入は、長引く景気低迷で、歳入の款1町税につきましては、法人税が大きく落ち込むなどして、前年度より2,941万4,000円ほど少ない36億1,219万2,000円の予算計上としたところであります。

また、款2の地方譲与税から款8の自動車取得税交付金までのすべての款であります。景気の影響を受けての減収を見込んだところでございます。

特に、款6の地方消費税交付金につきましては、前年度より4,460万円と大幅に減収を見込んだところでございます。

款9の地方特例交付金につきましては、子ども手当の創設に伴い従来の拡充分のほかに、新たな地方負担額分を合わせて交付されるため、前年度より229万9,000円の増額、5,010万円を計上いたしましたところでございます。

款10の地方交付税につきましては、国全体で1兆1,000億円の増額となっておりますが、21年度に創出された地域雇用創出推進費の廃止や新たな地域活性化・雇用等臨時特例費の創設などによりまして、基準財政需要額を算定をいたしまして、基準財政収入額は、なお、町税の減額や地方特例交付金を含む多くの交付金が減額となるなど、普通交付税は前年度より1億7,466万3,000円増の6億6,000万円の計上をいたしましたところでございます。特別交付税につきましては、前年度同額の1億円を見込んだところでございます。

款12の分担金及び負担金につきましては、保育所運営費の保護者負担金が主でございます。総計で1億8,850万3,000円を計上したところでございます。

款13の使用料及び手数料につきましては、上里ゴルフ場公園施設管理許可使用料を見込みまして、1億4,337万2,000円を計上いたしましたところでございます。

款14の国庫支出金につきましては、本年の大きな施策としての子ども手当の交付金4億6,000万3,000円や、それから道路事業の地域活力基盤創造交付金を含めまして8億3,412万7,000円を計上したところでございます。

款15の県支出金につきましては、緊急雇用創出基金事業補助金を含んだ5億5,726万2,000円であるわけであります。

款18の繰入金につきましては、財政調整基金から9,100万円を繰り入れるなど、合計9,947万5,000円を計上いたしました。

款22の町債でありますけれども、臨時財政対策債4億4,050万円や地方道路事業債、鉄道駅神保原駅バリアフリー化設備整備事業債などございまして、計で6億1,380万円を計上いたしました。

款1の町税から款22の町債まででございますが、歳入総額で74億2,700万円となっております。

ころでございます。

次に、歳出のほうの款項別の金額につきまして説明申し上げたいと思いますが、9ページから10ページに記載されておりますので、見ていただきたいと思います。

款1の議会費から款12の予備費まででございますが、款3の民生費につきましては、子ども手当としての5億8,386万9,000円やこども医療費、特別会計繰出金等によりまして、28億2,324万7,000円の計上となっているほか、款7の土木費につきましては、古新田四ツ谷線整備事業や上里サービスエリア周辺地区道路整備事業などの道路事業による増額になっているところでございます。

歳出総額は歳入同様で74億2,700万円となっているところでございます。

次に、11ページから12ページでございますけれども、「第2表 債務負担行為」についてありますが、上里町土地開発公社借入金債務保証については、土地開発公社が業務を行うために銀行等から借り入れた資金について、最終弁済期が到来しても償還できない額を債務保証するものであります。

公共用地取得事業及び上里サービスエリア周辺地区整備事業の平成22年度借り入れ分についてであります。

また、公共用地先行取得事業につきましては、平成22年度の土地開発公社が町等からの依頼に基づき、先行取得する用地分についての債務負担であります。

農業近代化資金利子補給、それから農業経営基盤強化資金利子補給、それから中小企業融資損失補償の平成22年度にかかわる債務負担行為であります。

また、上里土地改良区をはじめとする各土地改良区補助金については、財政健全化法に基づきまして、今後、各土地改良区の借り入れに対する補助金を明確にしたものであります。

次に、13ページでございますけれども、地方債になるわけでありまして、鉄道駅バリアフリー化設備整備事業であります。神保原駅のバリアフリー化の補助金を起債しているところでございます。

また、県営圃場整備事業債につきましては、上里西部土地改良事業への町の負担金に対する起債2,000万円を借り入れる予定であります。

次に、地方道路改良事業でありますけれども、これは道路改良事業に対する起債で、歳入で申し上げましたように、都市計画道路古新田四ツ谷線整備事業と上里サービスエリア周辺地区道路整備事業を含む道路改良事業債でございまして、1億2,830万円を借り入れる予定となっているところでございます。

次に、臨時財政対策債でありますけれども、これは国の地方財政対策の財源不足が生じたために発行されるものでありまして、交付税の基準財政需要額に元利償還金が全額算入されるも

のでありまして、4億4,050万円を借り入れる予定となっているところでございます。

平成22年度の起債の総額は6億1,380万円となるところでございます。

次に、起債の方法につきましては、記載させていただいているとおりでございます。

利率については、4%以内という借り入れの要件でございます。

また、ただし書きで、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公営企業等金融機構からの資金につきましては、利率の見直しを行った後においては当該見直し後の利率と明記したものでございます。

償還の方法につきましては、記載のとおりとなっているところでございます。

次に、予算の内容につきまして説明させていただきますが、平成22年度の予算編成でありますけれども、一般会計の歳入歳出予算の総額は、先ほど申し上げましたとおり、74億2,700万円と昨年度と比較いたしまして6億6,700万円、9.9%の増となっているところでございます。

また、単純に子ども手当5億8,386万9,000円を仮に除きますと、前年度と比較いたしますと8,313万1,000円の増で1.2%の増となるわけでありまして、これが実質的な伸びであるというふうに御理解いただきたいと思うところでございます。

国の平成22年度の予算は、景気低迷や雇用情勢の悪化が続いている中、昨年秋に新内閣が発足し、国の平成21年度補正予算により経済危機対策等、新たな臨時交付金が交付されるなど、財政難に悩む地方公共団体の地方財政にも大きな影響を与えているところでございます。

地方財政への平成22年度予算の大きな柱は、子ども手当の創設や地方交付税の増額確保、それから臨時財政対策債の対応、それから高校の実質無料化など、マニフェストに掲げております事業の取り組みや徹底した予算の効率化を図っておるところであります。

町におきましても、深刻な経済情勢を踏まえまして、国の基本方針や新行財政改革推進プランを引き続き取り組みまして、歳入においては、町税や地方譲与税、各種交付金の落ち込みや地方交付税の大幅な伸びが見込めないなど、一般財源の確保が厳しいと予想される中でありますけれども、国・県の補助金、起債等を活用いたしまして、総額で昨年度よりも、先ほど申し上げました6億6,700万円の増の74億2,700万円といたしたところでございまして、歳出につきましては、新規事業の取り組みやこれまでの行政改革を継続し、一部事務事業の見直しや事業費の抑制を図ったところであります。

具体的な見直しの内容につきましてでありますけれども、平成21年度に引き続き、町長・副町長・教育長の給与の削減、それから議会議員、非常勤特別職の費用弁償の支給停止の継続、それから職員出張日当の支給の停止の継続、それから公共施設維持管理経費や効率的な建設事業の取り組みなどであるわけであります。

新たな施策への取り組みといたしましては、神保原駅のバリアフリー化の取り組みや上里サ

ービスエリアスマートIC調査業務委託、それから子育て支援といたしまして、子ども手当や子ども医療費として7月診療分より義務教育終了、15歳になる年度末であります、までの医療費の無料化、それから地域子育て支援拠点事業委託など、また、高齢者事業の取り組みといたしましては、地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金を、そして上里中学校建設基本構想策定調査委託などを計上をいたしたところでありまして、がん検診等予防対策の充実、それから消費生活相談員の相談回数を週1回から2回へ増やすことや上里サービスエリア周辺地区道路整備事業、古新田四ツ谷線道路整備事業など完成を目指した道路整備の取り組み、上里中学校の整備に向けた基金の積み立てなど、厳しい財政状況の中でありまして、取り組みを行ってきているところでございます。

今後も、経済情勢の低迷や少子高齢社会への対応など町の財政状況の厳しさは続くものと思われるわけでありまして、多種・多様化する住民要望にこたえ、福祉・環境・生活基盤の整備等安心して暮らせるまちづくりのために、行財政の基盤の充実強化を図りまして、簡素で効率的な行財政運営を推進してまいらなければならないと考え、予算編成を行ったところがあります。

以上が平成22年度の予算に対する編成方針及び内容の説明とさせていただきます。

慎重審議の上、御議決賜りますようお願いを申し上げます。

議長（根岸 晃君） 暫時休憩いたします。

午前9時20分休憩

午前9時35分再開

議長（根岸 晃君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（根岸 晃君） 一般会計の補足説明を求めます。

副町長。

〔副町長 山下精治君補足説明〕

議長（根岸 晃君） 暫時休憩します。

午前10時3分休憩

午前10時5分再開

議長（根岸 晃君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（根岸 晃君） 副町長の説明を続行いたします。

〔以下、上程中の議案について 副町長 山下精治君補足説明〕

議長（根岸 晃君） 以上で、平成22年度上里町一般会計予算の提案理由の説明を終わります。

散 会

議長（根岸 晃君） 本日はこれをもって散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時6分散会